



参加費
無料

イスラエルーパレスチナ の体験を語る

2024.4.20 (土) 14:00-16:00 (13:30開場)

会場：広島市留学生会館 2F 多目的ホール
〒732-0806 広島市南区西荒神町1番1号

英語でのプレゼンは日本語通訳あり
定員：45名

悪化の一途をたどるガザの危機を日々目の当たりにしている私たちは、平和をより理解し、平和により近づけることを模索しています。ワールド・フレンドシップ・センターでは、イスラエルとパレスチナの人々と深いつながりのある3人の広島在住の方をお迎えし、それぞれそこの生活の経験や人びととの関わりについてお話いただきます。ぜひ一緒に学び、質問し、話し合しましょう。



Aoe Tanami
田浪 重央江

広島市立大学国際学部准教授。東京外国語大学アラビア語学科在学中にシリア・ダマスカス大学留学、一橋大学大学院在学中に、イスラエルのアラブ居住地地域でフィールドワーク。パレスチナの現代文化に関心があり、この10年ほど毎年現地の劇団や文化センターで調査を行なっている。著書に『<不在者>たちのイスラエルー占領文化とパレスチナ』など。



Ashley Souther
アシュリ・サウザー

武田中学・高校の平和学の教師。授業の中で、生徒たちを様々な国や文化の若者たちとつなげている。一緒に意思疎通を図り、コミュニケーションをとる中で、彼らは互いを隔てるものよりも共通するものの方が多いことに自然に気づいていく。アシュリは、広島平和研究所で広島の平和教育について研究しており、現在は『はだしのゲン』の著者の中沢啓治についての論文を執筆中。



Rebecca Maria Goldschmidt
レベッカ・マリア・ゴールドシュミット

アメリカ合衆国イリノイ州シカゴで育ったアーティスト、カルチュラルワーカー。作品は共同作業を通じて制作されることが多く、彼女のユダヤ人とフィリピン人のルーツの文化的慣習が反映されている。2020年ハワイ大学マノア校（ホノルル）で修士号を取得。現在は文部科学省奨学生として広島市立大学で彫刻分野の博士課程に在籍。

4/19 (土) までにQRコード

登録：またはメール、お電話、
FAXからお申込みください。



Email: office@wfchiroshima.org

TEL: 082-503-3191

〒733-0032 広島市西区東観音町8-10

<https://www.wfchiroshima.org/>

FAX: 082-503-3179